

天沼小だより

校長 大里 忠弘



地域の方へ感謝の気持ちをお届けしました

例年、11月に「感謝集会」と名付けて、天沼小の子どもたちを見守ってくださっている地域の方々に感謝の思いを伝えるイベントを行っています。昨年、今年と2年にわたっては新型コロナウイルス感染症の影響で感謝集会を開くことができませんでした。

朝の登校に合わせて、交通指導、交通安全の見守りをしてくださっている交通指導員の白石様、学校支援隊どんぐりの泉様のお二方に、代表として学校までおいいただき、児童からの感謝のお手紙と鉢植えの花をお渡ししました。



お二人からは全校児童へ向けてのビデオメッセージをいただきました。11月19日に校内放送による児童集会で公開します。白石様以外の交通指導員の皆様のお仕事の様子を写真に収めましたので、児童集会の中であわせて紹介する予定です。

学校支援隊どんぐりの皆さんは、絵本の読み聞かせやペープサート、プラ板づくりなど楽しい活動の他、家庭科の授業のお手伝いなどもしてくださっています。

天沼小学校の子どもたちは、学校の職員だけでなく、地域のたくさんの方々に見守られ、助けられて成長しています。とても嬉しいことです。この子たちも将来、自分が暮らす街の子どもたちの良き助けになってくれることを願います。

寒さに負けない体をつくります



持久走の季節がやってきました。新型コロナウイルス感染症対策ということで、子どもたちが一杯体を動かす機会も奪われています。それでも、健康な生活のためには体を鍛えることが必要です。生涯にわたって文化的で健康な生活を送るためにも、若い今、しっかりとした体作りをすることが大切です。

校庭を走るのでマスクを外しますが、学年ごとに走るコースを分け、校庭一杯に広がって走ります。走り終わって息を整えたらマスクをつけ直します。

これからは徐々に寒くもなりますが、月末の持久走トライアルに向けて自分を鍛えます。コロナに負けない、寒さに負けない、自分に負けない逞しい体と心をめざします。

